

笑顔で過ごす「ゴールデン・ウィーク」に！



新学期が始まって、早くも1か月がたちました。ご家庭での子どもさんの様子はいかがでしょう？ 芦刈観瀾校の子どもたちは、毎朝笑顔で登校し、落ち着いて学習に取り組んでいます。入学してきた1年生も新しい環境に慣れて、休み時間に元気いっぱい遊んだり、親しい仲間と笑ったりしています。7年生も真新しい制服姿がすっかり定着し、たのもしく感じます。

さて、学校ではゴールデンウィークを前にして、各学年に応じて「安心・安全な生活をするための指導」を行っています。特に以下の点につきまして、保護者の皆様からも、重ねてご指導をよろしくお願ひします。



好奇心いっぱいの芦刈観瀾校の子どもたちが、お休みを家族と過ごし、心も体もリフレッシュして、全員笑顔で5月8日（月）に登校してくれることを願っています。

1 事故防止のために

(1) 安全に歩行する

- ①交差点では必ず止まり、左右の安全を必ず確認してから横断する。
- ②車道への急な飛び出しや車のかげからの飛び出しはしない。
- ③道路で遊ばない。（ローラースケートやキックボード、一輪車など）
※道路へ石投げ・石蹴りをしない！



(2) ルールを守って自転車に乗る

- ①広い道に出るときや交差点では、確実に一時停止し、左右確認をして、飛び出しをしない！
- ②必ずヘルメットをかぶって運転する。
- ③並列、手放し、無灯火、スピード出し過ぎ等、危険な乗り方をしない。
- ④許可された範囲を乗る。
※子どもだけで自転車で町外（江北町・福富町・佐賀市方面）に出ない！



(3) 外出するときは、行先と帰宅予定時刻を必ず伝えてから行く。（暗くなる前に帰宅する）

※夕暮れは、事件・事故につながる危険がひそんでいます。

不審者との遭遇、誘拐等の事故を未然に防ぐためにも徹底してください。万が一不審者に遭遇した場合は、近くの大人や警察への通報を速やかに行ってください。また、暗い場所や人通りの少ない場所への立ち入りを避ける、防犯ブザーの確認を行うといったこともよろしくお願ひします。

(4) 川やクリークに 子どもたちだけで近づかない

※子どもは、身近にあるクリークや川の「命を奪う怖さ」に気づいていません。

小学部の子どもたちは「釣り」などの川での遊びは、全て保護者同伴です。保護者様は、危険場所確認をするとともに、子どもたちが転落をしないように、そばに近寄らない指導をお願いします。

中学部の保護者様も「釣り」に行く子どもには、必ず声かけをしてください。

2 非行防止のために

(1) お金の貸し借り、おごり合い、カードの交換、買い食い、万引きはしない。

※子どもの所持金、所持物の管理は、保護者の役目です。絶対に放置してはいけません。

また、「友だちと一緒にコンビニだったらいいだろう」と保護者が気を許し、お金を持たせ、自分たちだけで店に立ち寄ることを許してしまったときに、様々なトラブルが生じています。

お金を持たせる際は、各家族で「我が家のきまり」を決めて、ご指導ください。

※「万引き」は、法に触れる行為です。絶対にしてはいけなと、強く言い聞かせてください。

(2) 大型店施設、映画館などへの出入りは、保護者同伴とする。

※人出が多い場所で子どもを守るのは、当然保護者の役目です。

子どもが迷子にならぬように、お気をつけください。



(3) 公共の場、公共交通機関を利用するときはルールとマナーを守る。

※子どもが公共の場に出た時の姿は、普段の「保護者のしつけの成果」です。

○社会的ルールにそった行動（交通ルール、公共施設・交通機関利用の規則）

○社会的なマナーにあった言動（あいさつ・言葉づかい・目上の人への態度）

これらを、必ずお出かけ前にご指導ください。

◆外出先で、社会のルールやマナーから外れた「子どもの行動」が出ないように

サポートするのが、保護者の役目です。



「外出先で叱られる経験」は、子どもの心には強い反省を促します。大事なのは外出先でのルールやマナーを教えることです。

外出前に「今日おでかけする場での約束は3つ！」などと守らせたいことを提案し、帰宅後に「よくがまんできたね。おかげでみんな楽しかったね。」とほめてください。そうすれば、子どもは1歩ずつ成長します。

外出も、「子どもには、社会体験という貴重な学びの場」ととらえて、導きましょう。

家族みんなが笑顔で過ごすためには…思いを伝え合うことが大事！

◆ときには、子どものわがままにブレーキをかけることも大切です。

◎「～だから、～しようね」と、説明して納得させる。

◎「したいね。気持ちはわかるよ。」と共感した後、

「でも、～だから、一緒に～しようね」と、共に我慢を提案する。

◎「ダメなモノは、ダメ！」と親の権限を發揮し、断固としてゆずらない。



◆状況に応じ、心配り・目配りをしながら、「安心・安全」を第一に考えて、保護者が正しく判断し、しっかりと子どもに伝え、共に楽しく過ごしましょう。